

# 日本レディースバドミントン連盟だより



J.L.B.A.

## Vol. 10

### 日本レディースバドミントン連盟のありどころ

会長 藤田 庸右



連盟だより第10号の発刊をお祝い申し上げます。瞬時にしてインターネットによる情報伝達のなされる今日に、本誌の存続を議論されたこともありましたが、平成14年に第1号を上梓してより第10号という節目を迎えますことは、何としても嬉しいことであります。見る側による情報取得だけではなく、発信する側の積極的情報の発信方法として、連盟だよりを通じた紙面による情報伝達は、不特定多数の目に触れる機会も多く、横のつながりの中で共有する情報として、より多くの連盟員の皆様に読んでいただきたいものであります。日本は小さな国ですが、日本レディースバドミントン連盟の組織は47都道府県に広がっており、その津々浦々まで理念を浸透させ意識を共有するのは容易な事ではないと考えます。その伝達方法の一助として、今後も継続進展させていきたいものと期待します。

平成23年度当連盟は役員改選年度を迎えました。新体制が整い今や希望を持ってスタートを切ろうとしています。この時に30周年を2年後に控えた連盟の歴史を振り返りますに、今日までの一つ一つの基礎を培っていただいた先人のご努力を忘れるものではありません。22年度まで副理事長として貢献いただきました東京都選出の竹内ヒロ子氏と香川県選出の白井カズ子氏がこのたびご退任されることになりましたが、両氏の存在はまさしくその歴史を物語るものであります。出身都県におきましては永年要職を歴任され、その英知と豊かな経験を、当連盟にあまさず反映していただきました。お二方のみならず、このたびご退任されます役員の方々に対し、ここに心よりの感謝の念を表すものであります。

時代の流れの中で、責任ある世代交代をいかにスムーズになすべきかは、後を託されたものの課題でありましょう。2万人連盟員をしかるべき方向に導くことは誠に重責であります。私共役員一同心を一つにして邁進し、来るべき時代と向き合いながら、この日本レディースバドミントン連盟がバドミントン愛好者にとつての頼るべきよすがとなれるよう、切に願ってやみません。



第1号～第6号までは当時の広報部長 白井カズ子氏によって主宰されました。

東日本大震災のお見舞いを  
申し上げます。

罹災された方々が健康を回復され、一日も早く希望を持って立ち上がられる日が来ることを願います。

私達は、それぞれがどこで、また何が出来るかを考え、いつまでもこの災害を忘れることなく応援の気持ちを寄せていきたいと思っております。

# 思いをこめ、想いをこめ

竹内ヒロ子

平成二十五年、日本レディース連盟が創立三十周年を迎える。間借り住まいの麹町から千代田区三番町の仕舞屋(しもたや)の二階に引越し、昭和六十二年、日本家庭婦人連盟の事務所が出発した。四人が机を挟んで座ると後ろも通れず、部屋で人が動く時は立ち上がって通す、ガリ版を切る、登録のチェック、夏の扇風機と冬の電



熱器に助けられ、首に巻いたタオルが汗止めになったり、マフラーになったり...なに不自由とも、大変だとも思わず夢中で過ごした時間、四十代半ばのメンバーはいつか全員が七十代になっていた。昭和五十八年、全日本都道府県対抗戦が二十四チームの参加でスタートし、翌年クラブ対抗戦が加わり、東西大会が一つになって個人戦が発足した。平成二十二年大阪府レディース連盟が運営していた国際親善大会が、日本レディース連盟と日本バドミントン協会の共催となり、ヨネックスの冠協賛、BWFの公認もえて、年間三つの大きな主催大会を持つ組織になった。成長する過程の中で種々起る問題に模索と葛藤を繰り返しながら時間をかけて論議して来たと思う。昨今の会

## これからの日本レディースバドミントン連盟に期待すること

白井カズ子

日本レディースバドミントン連盟設立の目的を改めて考えてみました。規約の第4条に「本連盟はバドミントンを通じて会員の親睦を図り、各競技会を開催するほか特にレディース相互に於けるバドミントンの普及に努めるとともに研鑽を深め併せてバドミントンの発展に寄与することを目的とする。」とあります。



私達の連盟は、バドミントンを深く愛する全国会員の仲間達の支えにより大きく発展成長して参りました。その中で開催しています都道府県対抗団体戦クラブ対抗個人戦、ヨネックス杯国際親善大会の3大会を、誰もが目標とする大会に育て上げるという夢と課題を持っています。大会を通じて本連盟の役員はそれぞれのポジションで、参加選手は自己への挑戦の中で、深い感銘と忘れることの出来ない思い出を数多く残してきたと信じています。

私達は人と人との繋がりの中で支え合っ

議で若い?理事達が忌憚なく意見を交し合い熱く語るのを聞けるのはなんと頼もしく嬉しいことである。そこで審議された幾つかの議案が今年度実施される。本部組織の役割分担の細分化は充実した機動力を生むであろう事を感じさせ、運営規程の変更は参加者への明報であり、主管地の負担軽減を考慮した参加料の値上げなど総会での報告が楽しみです。一方その役員

人々は感動と勇氣、そして生きる喜びを味わってきたのではないのでしょうか。全国のバドミントンを愛してやまないレディースの方々、今一度日本レディースバドミントン連盟に思いを寄せて、これが自分達の組織、連盟であることを再認識して頂きたいと思ひます。

バドミントン競技もオリンピックに参戦することにメデイアにも大きく取り上げられ注目されるスポーツに転換しつつあります。その一角に私達の連盟も参加して、2年後には早や30周年を迎えることとなります。歴代役員の皆様のご努力に敬意を表し、これからの連盟を担って行かれる次期役員の皆様にとっかりとバトンを渡したいと思ひます。そして初期の目的達成のため、更なる改革と発展、飛躍が出来ますようメールを送ります。私はこれからも、いつまでも日本レディースバドミントン連盟の応援隊であり続けたいと思ひます。



2010.10.21 ヨネックス杯 国際親善レディースバドミントン大会 Mini-Forumにて

# YONEX CUP INTERNATIONAL FRIENDSHIP LADIES BADMINTON TOURNAMENT 2010

## Mini-Forum

Date:21st. 10, Oct. (Thu.) Venue:Osaka Prefectural Gym. 3F VIProom

<b>Forum テーマ</b>	<p>*Have you enjoyed your sports life?</p> <p>*How are women sports being developed in your countries?</p> <p>*What do you think about The YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2010 ?</p>
------------------	--

<b>Forum の趣旨</b>	<p><b>村井 広美</b> (日本レディースバドミントン連盟理事長、大阪府レディースバドミントン連盟会長、大会主催・主管)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世界バドミントン連盟(BWF)の公認を得たことにより、女性スポーツ担当理事ノラ ペリーさんの視察を受けた。</li> <li>●この機会に参加している各国の女性スポーツリーダーが集まり、意見交換の場を持ち話したいと考えた。</li> <li>●人口の半分を占める女性、又は母親がバドミントンにとり組めば周囲に影響を与え底辺を広げることとなる。</li> <li>●広い底辺を持つためにはトップは高くなければいけない。故に国際大会Aゾーンには賞金を設定してきた。一方B~Gゾーンは生涯スポーツを楽しむことを目的とし国際的に親善友好を図りたい。今後は可能ならば国外開催も考え、バドミントン組織の未開発の地に広く普及していきたい。</li> </ul>
------------------	---



### Nora Perry

(英国出身 BWF理事 1970年代全英選手権チャンピオン 視察来日)

●ヨーロッパでは女性も仕事を持つのが基本であり、男女の区別の意識は少ない。すべての人が学校、ソーシャルクラブ等に属しスポーツを楽しんでいる。日本レディースに於ける連盟誕生の図式とは少し違う。しかし全国的な規模で組織づくりをしている日本のやり方は驚嘆に値する。女性の力で運営している国際大会は稀有である。BWFの中で報告し、そのネットワークで世界各国から大会参加を応援したい。

### 湯木 博江

(岡山県出身 1969年から全英選手権4連覇 ユーバー杯3連覇 2002年BWF殿堂入り)

●選手生活は結婚、出産までと考えていたが、広い世代の選手が多く出場している大会を見て生涯スポーツの意義を改めて考えさせられた。大会が継続出来るのは魅力があるからで、今後も可能性を秘めた大会について、如何に楽しく、お金も出来るだけからず展開出来るか、皆で知恵を出し合ってほしい。

### 榎野 尾悦子

(石川県出身 ユーバー杯優勝 全英選手権シングル含め優勝5回)

●生涯にわたってスポーツをしてこそ意味がある。結婚、出産を経た後も40歳まで目標を実現することが出来た。その後も全ての女性にスポーツを広げるような仕事がしたいと思い今なおバドミントンに携わっていることが日本のバドミントンの発展に繋がればと考えている。それが仲間作りにも発展し、豊かなスポーツライフとなって欲しい。

### 胡 山 喬

(中国上海出身 ナショナルチーム選手を経て来日 コーチ)

●新中国の中では、施設を開放し女性スポーツ、生涯スポーツを広げようとしている。国際大会は第1回から見てきた。意義ある大会を文化として知らせてほしい。インターネットを活用し、HPを機能させ、競技スポーツ経験者に留まらず一般の選手の参加出来るようになることが望ましい。

### Tim Mangkalakiri

(USA カリフォルニア州OCBCバドミントンクラブプレーヤー)

●OCBCでは常にUSオープンなど世界的な大会を運営している。USヨネックスの支援も得ている。しかしUSAでは男女の区別なくバドミントンを楽しんでいるので、女性だけの大会というのは特にない。2008年にオレンジカウンティで国際親善大会を開催したことは、良かったと思う。

### Kang Youn Shin 姜英信

(韓国女性スポーツ协会会长)

●オリンピック以来政府もスポーツを奨励し力を入れている。補助もあり家庭の健康のために男女共通の楽しみとして発展してきた。日本レディース連盟は女性だけの運営で学ぶところがある。韓国でも連盟を作りたい。将来韓国で開催する機会があるならやってみよう。

### Brenda Johnson

(カナダ アルバータ州 エドモントン 出身 国際親善大会初参加)

●学校では体育のカリキュラムがある。地域では、バドミントンを含め団体競技、個人競技多岐にわたり有料でクラブに入会しスポーツをする。公的支援は国際的アスリート以外は少ない。大会に初参加したが、規模の大きさにまず驚いた。カナダでは、シニア、マスターの大会でも男女合わせて350人くらいの参加数である。国状も何もかも違う中で交流は実に素晴らしい。今後もインターネットに結果アップし広く配信してほしい。

### Huang Li Ying 黄麗鶯

(中華民国公務員 コーチ)

●台湾では男女、職業など上下の意識はあまりなく、政府もスポーツを広く奨励している。家庭では主婦の力は強く自分の意思でスポーツを楽しむ。大阪の国際大会は素晴らしい。何年も参加しているがいつも来て良かったと思う。

### Chan Yam Ming

(香港から大会初参加)

●香港ではインターネット通じて仲間を探す機会が多い。私達は怪我なく体力がある限り80歳までスポーツライフを楽しみたいと思っている。大会もインターネットを通じて知った。この素晴らしい大会を毎年続けてほしい。

### Daphne Chang

(USAチームとして2010年初入賞)

●女性によるプロモートの大会はUSAにはなく、まして大阪の大会のような団体戦は仲間同士の結びつきにおいても素晴らしいアイデアだと思う。2年連続参加したが、大会を大いに楽しみ、多くの友達に会い素晴らしい時間を過ごすことが出来た。これからも世界中から選手の集まる大会として続けてほしい。

# 第28回全日本レディースバドミントン選手権大会

期日 平成22年7月29日(木)～8月1日(日)  
会場 仙台市体育館・仙台市青葉体育館



宮城県観光キャラクターの「むすび丸」

## 宮城県レディースバドミントン連盟

理事長 西大條 和子

第28回全日本レディースバドミントン選手権大会を、平成22年7月29日～8月1日、仙台市体育館・仙台市青葉体育館の2会場において都道府県対抗・クラブ対抗合わせて90チーム、881名の選手を迎えて開催致しました。

開催県の決定から、各大会への視察団を組む、大会にむけての準備に入りました。大会運営や受付の様子、会場設営の仕方、ゴミ処理の方法まで、カメラ片手に目にするところは撮らせていただきました。3年間準備に費やし万全を期したつもりでしたが、いざ取り組むと戸惑うことばかりでした。大会規定に従い、日程が決まり次第、施設の確保から始め、行政への申請・後援依頼の書類を調べ日参しました。

プログラムの作成も大変な作業でした。広告の依頼も多方面に配布させていただきました。協力を得ることができました。とりわけ協賛各社との交渉は開催県で個別に対応するには知識や経験不足であり、7月に入ってもなかなか思うように進まない状況



でした。

そんな折、大会運営の進捗状況を心配された竹内副理事長が「どうだ、うまく進んでるか?」とお声掛け下さり、「実は…」と泣きついてしまいました。竹内副理事長のお力添えがなかったら、前代未聞の出店の無い、淋しい大会開催になるところでした。前年度開催地である岡山県レディース連盟様より、大会運営についての資料を送っていただけたことも大変な支えと励みになりました。

開会式・懇親会には200人以上の参加をいただき、とても嬉しい悲鳴でした。小学生たちが踊る伝統芸能の「仙臺・すずめ踊り」や、宮城県の観光PRキャラクターとしてお馴染みの「むすび丸」にも出陣してもらい大いに会場を沸かせました。また、大分県レディース連盟の皆様が友情出演の演技がさらに会場を盛り上げてくださいました。宮城県の特色を少しでも出せたらと、特別協賛のヨネックス様をお願いして、大会記念バッグやユニフォームをみどり色に統一し、「むすび丸」のデザインを入れてもらいました。色使いの規定が大変でヨネックス様にはご面倒をおかけしましたが、想像以上にすばらしい出来栄でした。記念の逸品です。何年か後、取り出してしみじみと眺めるのが楽しみです。

開催期間中は連日猛暑となりましたが、その猛暑を上回る熱気の白熱した試合が繰り広げられました。宮城県の選手と応援に駆けつけた会員は今大会において、普段なかなか見ることのできない全国大会レ

## 選手宣誓

宮城県 北浦民恵  
菊地恵子



歴史の重み、優勝杯



ベルの試合を目の当たりにし、そのテクニクとパフォーマンスの素晴らしさを肌で味わうことができ、感動と刺激を得るともよい機会だったと思います。

大会運営におきましては、不慣れなことや何かと行き届かない点も多く、全国からご参加いただいた皆様にご不便とご迷惑をおかけ致しましたことを、深くお詫び申し上げます。貴重なご意見やアドバイスを賜りありがとうございます。大会を終え、ご支援ご協力をいただいた協賛各社、広告を承った皆様、開催にお力添えをいただいた宮城県、仙台市、日本バドミントン協会、そして日本レディースバドミントン連盟に心より厚く御礼申し上げます。

宮城県レディースバドミントン連盟の皆様さん、酷暑の中の大会運営、大変お疲れ様でした。皆さんの大会成功への熱意と惜しみないご協力で、無事に大会を終えることができました!



宮城県大会役員の皆様

クラブ対抗戦



**\*優勝\*** みとクラブ(茨城県)  
昔節15年、全国大会に出場し悔しい思いを続けてきましたが、やっと桜が咲いた気分です。お世話になった皆様方ありがとうございました。これからも頑張っていきたいと思ひます。



**\*準優勝\*** 函館BLC.06 (北海道)  
準優勝、幸せです。夏の暑さにも負けず練習してきたご褒美かな?と思っています。皆で勝ち取った準優勝、そして仙台での熱戦忘れることなく又日々の練習に励みたいと思っております。仙台のスタッフの皆様ありがとうございました。



**\*3位\*** さっぽろソフィー(北海道)  
この大会でいろいろなことを得た3日間でした。嬉しくもありそしてくやし〜いベスト4。ちょっと贅沢でしたね(笑)。2年後の札幌大会でまたお会いできることを願って、仙台台タン最高!!



**\*3位\*** シャトルIWAKUNI(山口県)  
数多くのチームが参加していて、どのチームを見ても強そうに見える中、初出場です。ベスト4に入ることができ本当に嬉しく驚いています。山口の方々がたくさん応援していただき、とても心強くプレーできた事に感謝しています。この気分をまた味わいたいです。これからも頑張ってお楽しみバドミントンに励みたいと思ひます。

都道府県対抗戦



**\*優勝\*** 大阪府  
暑い夏が終わりました。奇しくも昨年涙をのんだ福岡県に準決勝であたり、リベンジが果たせました。一つ一つの試合を大切に一步一步のぼった壇上で手にした優勝杯の重さは格別です。宮城県の皆様大変お世話になりました。流した汗の分だけ得た感動は忘れません。大会関係者の皆様ありがとうございました。



**\*準優勝\*** 茨城県  
昨年度、全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)を開催し本当にたいへんな3日間でしたが、その分大切な事を収穫できた1年でした。仲間の力は本当に大きいです。今回の準優勝は、レディース連盟がそのときに得た集中力、団結力が結実したものだと思っています。選手の皆さんありがとうございました。



**\*3位\*** 福岡県  
ベスト4以上のレベルの高さをひしひしと感じています。昨年の初優勝後、連朝にむけて頑張ってきましたがやはり壁は厚かったです。他県の頑張りにもエールを送りたいと思ひます。来年はまた新たに挑戦者として参加させていただき頑張りたいと思ひます。



**\*3位\*** 埼玉県  
決勝まで気迫と根性で頑張りぬくと選手一丸となり、トーナメントでは普段以上の力を発揮し、喜びと涙で感激しました。残念ながら準決勝で負け3位になりましたがまた来年につながる様、一同練習に励んで大会に参加したいと思います。応援下さった皆様に感謝いたします。

# YONEX Cup International Friendship Ladies Badminton Tournament 2010

Date: Wednesday Oct.20,2010-Saturday Oct.23,2010 OSAKA,JAPAN

## ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会のローロ終了報告

大阪府レディースバドミントン連盟

理事長 廣瀬 園子



大阪府レディースバドミントン連盟  
主管として第2回を迎える YONEX CUP INTERNATIONAL FRIENDSHIP LADIES BADMINTON TOURNAMENT 2010は、香港、マレーシア、デンマークと新規3カ国に加え、カナダ、USA、台北、そして韓国からは何と10チームの参加をいただき、海外選手130名余という初体験の中、無我夢中のうちに終了致しました。16回も開催を経験しているはずなのに、役員右往左往、怪しい外国語が飛び交い、文字通り国際親善大会の雰囲気は味わえませんが、反面国内からのご参加が昨年より減ったことは残念なことであり、主管させて頂く側として反省すべきことであります。

今年一番の変化は、BWF(世界バドミントン連盟)や公益財団法人日本バドミントン協会からの視察を兼ねたお客様を多数お迎えしたこと。このことはBWFの公認を得、公益財団

法人日本バドミントン協会と日本レディースバドミントン連盟の主催として移管させていただいたことによる大いなる変化と前進であると感謝を持って実感いたしました。世界を目指すためには、海外から関心を寄せていただくことが不可欠です。特にBWF女性理事のノラペリーさんのご来日は、我々女性スポーツに携わる者として希望が膨らむ思いでした。世界のバドミントン愛好者がお互いの理解を深め、親善友好を築いていくこと、それが私達の夢であり目標であります。その大きな夢を、大阪府レディース連盟のみならず日本レディース連盟全体のものとして大会参加者全員で受け止めていただき、実現して行くことが出来たら、私達はこんなに嬉しいことはありません。

日本国中からご参加頂きました選手の皆様にお礼を申し上げます。惜しまぬご指導ご協力をいただきました日本レディース連盟役員の皆様にお礼を申し上げます。23年度も皆々様のご協力のもと、連盟員一つになって楽しむ YONEX Cup 国際親善レディースバドミントン大会2011を主管させて頂きたいと思っております。



閉会式での挨拶  
BWF 副会長  
Paisan Rangsitkpho(U.S.A.)  
パイサン ランスキーホー氏



選手宣誓  
May Mangkalakiri  
(U.S.A. 北京オリンピック)



Aゾーン3位のヨネックスチーム



カナダのエドモントンチーム



レセプションでも活躍の大阪あいClub

ゾーン	準優勝	3位
A	Taipei (A) (中華台北)	YONEX (日本)
B	東大阪M.B.C(A) (大阪府)	Super Crew (U.S.A)
C	湖南(A) (滋賀県)	FUKUKA (福井県)
D	フレンドリークラブ(B) (大阪府)	四日市クラブ(B) (三重県)
E	シャトルアザレア(A) (福岡県)	札幌ライラック (北海道)
F	mix65 (愛知県)	O.B.B (奈良県)
G	エンドレス(B) (福岡県)	東京(D) (東京都)



初参加でAゾーンの優勝をさらった MBA MALAYSIA Aチーム



Eゾーン 優勝 ミラクルパワー (埼玉県)



Bゾーン 優勝 Taipei (B) (中華台北)



Fゾーン 優勝 東京 (C) (東京都)



Cゾーン 優勝 あい&あい (兵庫県)



Gゾーン 優勝 O.B. PALS (D) (埼玉県)



Dゾーン 優勝 河内長野クラブ (B) (大阪府)

第5回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)



大分県レディースバドミントン連盟

理事長 綿谷 信子

平成二十三年一月二十八日(三〇日)、別府市総合体育館・大分県立総合体育館に四十都道府県六六〇名の選手をお迎えして「第五回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)」を大分県バドミントン協会・大分県レディースバドミントン連盟の共管で開催させて頂きまして大変光栄でした。

開催が決定した平成二〇年、地元レディースの審判有資格者を五〇名増員し講習会や各種大会において実力をつけてきました。同時に大会運営規定、大会開催概要を元に担当役員と共に一つ一つ準備を行いました。残り一ヶ月の頃は時間との戦いを感じました。

緊張して迎えた代表者会議での初めてのトーナメント抽選や開会式のセレモニーを日本レディース連盟役員の皆様によりドして頂いて無事終了する事が出来ました。

歓迎レセプションには多数の参加を頂きましてありがとうございます。オープニングの「豊後くれない太鼓」の演奏は優美で力強く、明日からしっかりと頑張ろう！と気合が入る舞台でした。

大会当日は雪が舞う寒さでしたが、会場では熱戦が続き、白熱したゲーム展開は目を見張るばかりでした。初日の試合進行状況では慌てる場面もありましたが、翌日はなんとか調整して順調に進

行する事ができました。選手、役員皆様のご協力とスタッフの頑張り、表彰式は整然と行い、無事終了できた時の喜びは忘れられません。大会期間中、不向き届きな点が少々あったと思いますが、たくさんの方から温かい言葉をかけて頂きまして、ありがとうございます。仲間と共に力を合わせて無事大会を終え、達成感を味わう事が出来て感動しています。

大会開催にあたりご指導、ご協力頂きました日本バドミントン協会、日本レディースバドミントン連盟、協賛各社、前開催地茨城県連盟様、地元の関係機関の皆様を始め全ての皆様に心より感謝申し上げます。本大会が今後益々発展するよう祈念してご報告とさせて頂きま



懇親会

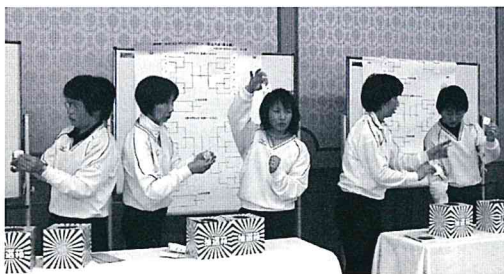
Table with 4 columns: 種目 (Category), 優勝 (Winner), 準優勝 (Runner-up), 3位 (Third place). It lists winners and runners-up for various badminton categories across different blocks (1部 to 1ブロック).



1部 優勝

松隈美千穂・引地 恵

本大会に初出場し、優勝できて本当に嬉しく思います。これまで支えてくれた家族、応援してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。大好きなバドミントンがやれ本当に幸せです。ありがとうございました。



決勝トーナメント公開抽選の様子

期日

平成23年1月28日(金)〜30日(日)
別府市総合体育館(開会式)
杉の井ホテル(べつぷアリーナ)
大分県立総合体育館





大分県大会役員の皆様

### 2部優勝者



**Gブロック** 松本 美津江  
室田 光枝

まさか、まさかの優勝で感激しております。応援してくださった埼玉の皆様、ファイテンの辻岡さん感謝しております。関係者の皆様ありがとうございました。



**Dブロック** 松原 春美  
井下 由紀子

今回は、Dランクで最年長でしたので難しいと思って臨みました。普段の練習の成果が結果となって良かったです。今後も、自分達のペースで頑張りたいと思います。



**Aブロック** 笠部 美登里  
島田 麻子

地元開催&初出場で優勝できて嬉しいです。今後も怪我のないようにしっかり練習を続けて、次回は1部で入賞を目指したいと思います。役員、運営の皆様ありがとうございました。



**Hブロック** 土庵 清子  
森田 洋子

素敵な体育館、そして役員並びにスタッフの皆様の厚いお世話でこの大会に参加できて嬉しく思います。年々大会参加を危ぶみながら今回優勝出来て本当に嬉しく思います。ありがとうございました。



**Eブロック** 藤本 雅子  
福島 伊津子

あきらめない事が勝利につながりました。自分とパートナーを信じて頑張れた結果だと思えます。今後も頑張ります。ありがとうございました。



**Bブロック** 伊藤 直美  
天沼 夕希子

初めて年齢別に出場して緊張していましたが、優勝できてとても嬉しいです。



**Iブロック** 田中 静子  
大塚 かつ江

多勢の仲間の声援をうけて嬉しい優勝です!! 日頃、大会での優勝目指して練習しておりますが、いざ試合となるとプレッシャーに押しつぶされそうになり普段の力を発揮することが難しいのですが、パートナーや皆さんの応援に助けられ気持ちよくプレーできた結果の優勝で、とても嬉しいです。



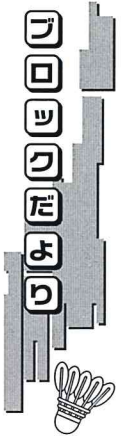
**Fブロック** 太田 礼子  
門間 由美子

全7試合はとてもきつかったけど、結果優勝できてとても嬉しいです。



**Cブロック** 権藤 麻衣子  
木村 ゆかり

とても嬉しいです。ありがとうございました。我慢してつないだ結果です。



北海道ブロック常任理事  
北海道 遠藤 静子

北海道ブロックでは平成24年に第30回全日本レディースバドミントン選手権大会を札幌市で開催することになりました。

今回で北海道での全国大会開催は3回目となります。まだ1回も開催を経験されたことが無い県も多い中で東京に次いで開催が多いのが北海道ブロックです。全国大会は何回開催しても1から準備・運営することになりますので、22年度宮城県開催の大会では勉強のため役員を見学させていただきました。ありがとうございます。今回新しい役員で全国大会に臨むこととなり皆で力を合わせてまいりますのでよろしくお願致します。

また毎年6月に行われます「よさこいンランオープン大会」も9回目となります。全国から来ていただいた皆様が試合を楽しみ、かつ、よさこい・北海道の美味しさを堪能できますよう、多くの方々にご参加いただけますよう、役員・会員一同力を合わせ今年も皆様をお待ちしておりますのでよろしくお願致します。

東北ブロック評議員  
青森県 佐藤 とし子

平成22年12月4日には念願の東北新幹線が開通し、23年には弘前城築城400年祭という希望と喜びが溢れる津軽弘前市で、22年10月30日・31日「第17回東北地区レディースバドミントン大会」を開催致しました。

1日目は競技会場の準備後、場所を変えて南田温泉アップルランドにて総会・監督会議と組み合わせ抽選を行い、少し時間を置いて開会式・レセプションと大いに親

睦を深め、2日目が競技開始です。各県の予選を勝ち抜いてこられた選手の皆様及び役員の方々、県役員・会員一同おてもなしの心意気でお待ちしております。開会式では少し緊張していただき、レセプションでおいしい料理と踊って跳ねて次の日のストレッチを。その後はゆつくりと温泉に浸かってもらい大会では目を見張るようなプレーで実力を出し気持ちよく帰路についていただけたらこれ以上うれしいことはありません。そんな想いで役員・会員一同準備に努めてまいりました。

1部(経験者) 2部(未経験者) 3部(56歳以上) 22チームの団体戦です。どの試合も手に汗を握る激戦でレディースバドミントンの心を揺さぶるものでした。技術は勿論のこと、体力、根性、気力…実感として字ばせていただきました。

東北6県多数の参加者を得、無事大会の日程を終了することができましたこと、またご協力いただきました役員、会員、お世話いただきました関係各位様に感謝申し上げます。ありがとうございます。秋田県でまた逢いましょう。

関東ブロック理事  
山梨県 森健 和子

平成22年5月に「第28回全日本レディースバドミントン選手権大会関東ブロック予選会」を、11月には「第5回関東レディースクラブ対抗バドミントン大会」を山梨県で開催致しました。各都県3チーム計24チームが優勝を目指し、団体戦ならではの選手と応援が一体になり、1ポイントを争う白熱した試合が繰り広げられました。この大会を通じて感じた選手の意気込みや熱意が、山梨県レディース連盟会員にとって士気を高めるものとなりました。

輪番制で昨年度東京都から主管県を引き継ぎ、大会を無事終了できましたのも、関係者並びに関東レディース連盟の理事の方々のご指導、ご協力のお陰と深く感謝申



関東ブロックの役員会

上げます。

平成22年度関東ブロックでは、3回の役員会を東京都で行いました。前年度の事業報告、会計報告の承認や来年度の事業計画(案)などを審議し、日しからの連絡事項や今後の関東大会の方向性など活発な意見が出されました。

平成23年7月に兵庫県で開催される「第29回全日本レディースバドミントン選手権大会」クラブ対抗に各県出場枠が与えられた為、関東ブロック予選会がなくなり、「第1回春季関東レディースクラブ対抗バドミントン大会」と名称を変更し、5月20日(金)茨城県鹿嶋市で開催されます。

今後関東レディース連盟1都7県の絆をさらに深め、幅広い年代でバドミントンを楽しむよう魅力ある活動を推進したいと思えます。

北信越ブロック理事  
長野県 古林 緑

平成22年5月16日北信越ブロック予選会

とクラブ対抗大会を長野県松本市で開催いたしました。大会前日には、会長、理事長、評議員出席のもと、ブロック役員会をもちました。岡田常任理事共々、日レ総会の報告、日レへの要望・意見のとりまとめをいたしました。

9月25日富山市で日レの北信越ブロック視察ということで村井理事長・民谷副理事長・山川地区部長に「ご定勞をいただきました。会長・理事長・評議員が出席しました。

これまで北信越ブロック役員会は年1回でしたが、年2回はブロック会議を開く必要があるとのご指導をいただきました。

11月6日富山市でブロック役員会をもち、日レ理事会の報告・次期ブロック役員選出等をおこないました。

さて、平成23年12月9日・10日・11日には、第6回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)が長野県主管で開催されます。北信越ブロックの心強い協力・応援のもと、よい大会になりますように準備をすすめています。雪化粧をすませた北アルプスの山々がみなさまをお迎えします。ご参加を心からお待ちしております。

東海ブロック理事  
愛知県 堀尾 恵美子

東海ブロックは、愛知、静岡、岐阜、三重の4県で年1回理事長会を行っています。ブロック大会として春に団体戦、秋に個人戦を開催して東海4県の交流を図っています。

全日本選手権大会「クラブ対抗の部」に参加するに伴いブロック大会の内容も変更し継続開催することになりました。

また全日本選手権大会「都道府県の部」年齢枠の変更においても若手の登録・育成に関して、また地域性においても課題は多いです。60代々の方々も活発にバドミントン競技をされている現状も大切にしてい

なくてはなりません。オープン大会も6月には「静岡ふじやまオープン」、1月には「愛知オープン」を開催しております。毎回他府県より参加していただきありがとうございます。私事ですが、ブロック理事として22年経ちました。日本レディース連盟事務局、役員方々の仕事の多さには頭が下がります。若輩者でしたので多々お世話になりました。民谷副理事長を支えに東海ブロックの団結、発展に貢献することができたら若輩者も卒業でしょうか。

**近畿ブロック理事**  
京都府 小国 久美

近畿ブロックでは、理事会や2種大会の団体戦の時など各府県の役員との交流も多くあり、わきあいあいとブロック活動を進めております。

平成22年5月22日に近畿クラブ対抗大会(全日本予選会)、平成23年3月26日には近畿レディースバドミントン選手権大会を東大阪市立体育館で開催しました。若い選手の出場が増え、スピード感あふれる試合を見せて頂く事ができました。

平成22年には近畿レディース連盟はめでたく30周年を迎える事ができ、当番県である大阪府レディース連盟に御尽力頂き5月29日スイスホテル南海大阪において、盛大に記念式典祝賀会を開催し、また記念誌も発行する事ができました。

当日には各府県の会長様、レディース連盟の会長、連盟の基礎を築いて下さいました方達にもお出席頂き30周年の歴史を振り返る事ができました。

10年以上連盟に寄与したとして、和歌山県 木下、滋賀県 宇山、兵庫県 宿里、京都府 小国の各理事長、また、近畿レディースバドミントン選手権大会5回連続優勝を果たされた 東大阪MBCクラブを表彰しました。この日からまた新たな歴史が始まっていくのだという思いを出席した



村井会長の挨拶



近畿ブロック、各府県理事長

人達全てで共有しあえた有意義な会であったと思います。

平成23年度は今までのクラブ対抗全日本予選会として開催していましたが、引き続き第1回対抗大会として行われる事となり、優勝杯を新たに購入、盛り上がる大会になる事を期待しています。

日本レディース連盟の活動にも多くの役員を輩出し、ブロック活動もあわせて協力し充実した活動を考えています。

**中国ブロック評議員**  
鳥取県 小沢 秀代

中国ブロックでは昨年度、5県の持ち回りによる大会として、年齢別競技会とクラブ対抗中国地区予選会を5月広島で、そして親睦大会を11月岡山で開催致しました。



中国ブロックの総会

その大会時に、総会(5月)、理事長会(11月)を開き、日からの報告や各ブロックの現状・各種大会について、そして各県の情報等を交換し、交流を深めております。

今年度よりクラブ対抗の出場枠が各都道府県1クラブになった事は、ブロック予選をなかなか勝ち抜けなかった我が鳥取県としましてはとても嬉しい知らせとなりました。

全国の方々の交流がこれからの楽しみとなつて、一層の発展に繋がることを期待しております。役員も、中国理事長に井下由紀子さん(広島県)、地区理事に磯永由美さん(岡山県)が就任されました。

鳥取県におきましても、平成11年より永年ご尽力頂いた山川友子さんのあとを今年度より引き継ぎ、理事長として皆様のご指導、ご協力のもとに皆で力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

**四国ブロック評議員**  
香川県 安藤 博子

香川県は日本一小さな県です。四国各県に1時間余りで移動でき、春の四国大会をはじめ各県レディースオープン大会に参加

親交を深めています。瀬戸大橋 高速道路など交通の便がよい昨今、瀬戸の海を越え中国、九州との親善、親睦を深めたいものです。個人戦、団体戦とオープン大会も各県さかんに開催しています。ラケットを持って四国の名物に舌鼓をうち、おだやかな気候のなか、コートの内、コートの外での出会いと縁を持ちませんか？

来年24年度には、徳島県において全日本レディース大会個人戦が開催されます。ぜひ青い国へお越しください。

全国からの皆様の参加を四国4県でお待ちしています。

**九州ブロック理事**  
熊本県 福島 美保子

沖縄、宮崎、鹿児島、佐賀、長崎、福岡、大分、熊本の8県からなる九州ブロックでは毎年2月の第1月曜日に福岡で各県代表者が集まり、大阪で行われる日本レディース連盟理事会の報告やさまざまな意見交換を行っています。

平成22年10月17日には第32回全九州レディースバドミントン選手権大会(団体戦)を熊本市総合体育館において、352名の選手をお迎えして開催致しました。結果は30歳代↓熊本、40歳代・45歳代・50歳代↓福岡、55歳代↓鹿児島、60歳代↓長崎が優勝されました。大会運営資金作りのための物品販売や、試合前日の準備から試合後の片づけまで、2日間協力していただいた県バドミントン協会、県レディース連盟の皆様には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

平成23年1月28〜30日には別府市総合体育館・大分県立総合体育館の2会場において第5回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)が開催されました。試合後には温泉巡りを満喫しておられました。

# 国際線審 誕生しました

百野 郁子



今回、初めて国際線審の登録制度ができました。登録人数は全員で47名です。私は、2011年から2014年まで国際線審として、BWFに登録していただきました。日本人は私だけです。今まで海外へ行く機会などほとんどなかった私が、一人で外国に行き、初めて出会う方と同室で大会期間中を過ごすのです。

初めての派遣は1月末の韓国オープンでした。会場のソウルは雪に覆われ、気温は氷点下でしたが体育館の中では熱い戦いが繰り広げられ、試合のレベルの高さに緊張しながらも、貴重なすばらしい体験をさせていただきました。今後もさまざまな国際大会に派遣していただくことができたいと思います。日本のレディース連盟の一員が頑張っていることをたくさんの方々に見ていただけたらと思っています。

## 平成23年度オープン大会日程表

開催日	大会名	開催地	会場
平成23年 6月1日(水)・2日(木)	第18回 福島オープンレディースバドミントン大会は震災の為に中止されました		
6月5日(日)	第8回 静岡ふじやまオープン大会	静岡県	富士宮市民体育館
6月9日(木)・10日(金)	第9回 北海道よさこいそ〜らんオープンバドミントン大会	北海道	札幌市白石区体育館
6月25日(土)	30周年記念 ふれあいオープン大会	富山県	竹平記念体育館
7月23日(土)	第23回山口県レディースバドミントン連盟 結成記念オープン大会	山口県	山口県スポーツ文化センター
8月27日(土)・28日(日)	第38回 京都オープンレディースバドミントン大会	京都府	京都府立体育館
8月28日(日)	35周年記念 全国ふれ愛バドミントン百万石オープン大会	石川県	石川総合スポーツセンター
9月30日(金)	第26回 広島レディースオープンバドミントン大会	広島県	広島サンプラザ
10月6日(木)・10月7日(金)	第7回 マザーレイクフェスティバルバドミントン大会	滋賀県	野洲市立総合体育館
10月11日(火)・12日(水)	第9回 大江戸オープンバドミントン大会	東京都	台東区リバーサイド
11月3日(木祝)	高知県よさこいレディースオープン大会	高知県	くろしお体育館
11月10日(木)・11日(金)	第24回 奈良オープンレディースバドミントン大会	奈良県	奈良市中央体育館
12月4日(日)	第10回 徳島オープンレディースバドミントン大会	徳島県	アミノバリューホール
12月16日(金)・17日(土)	第6回兵庫オープンレディースバドミントン大会 (すみれオープン)	兵庫県	宝塚市立総合体育館 末広体育館
平成24年 1月23日(月)~26日(木)	第3回 愛知オープンレディース大会「団体戦」	愛知県	日本ガイシスポーツプラザ第2
1月28日(土)	第8回 湯けむりオープン大会	大分県	別府市総合体育館
2月3日(金)	第38回 長崎レディースバドミントンオープン大会	長崎県	長崎県立総合体育館
3月2日(金)	第21回茨城県レディースバドミントン連盟 ひばりの会	茨城県	取手市グリーンスポーツセンター
3月6日(火)・7日(水)	第16回 千葉・菜の花オープンバドミントン大会	千葉県	ちばポートアリーナ

### 編集後記

連盟だより第10号を本日皆様にお届けすることができ安堵しております。

今号より紙面を拡大して作成することになりましたので、内容の充実に向けて模索しつつ編集させていただきました。皆様の率直なご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

お寄せいただいた原稿がそろい終わつた頃に、あの震災がおきました。今回は、そのまま掲載させて頂きました。仙台の若林区という地名がテレビで報じられた時には、心臓がドキーンとし「どうかご無事で」と祈りました。連絡のとりようもなくただただ心配しておりましたが、13日の夜ご無事の連絡をいただきホッとしました。罹災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

想像をはるかに上回る大災害に現実を受けとめきれないでおりますが、私達にできることはなにか皆で考えていきたいと思います。

### 《広報部員》

西大條 和子 土肥 昌代  
清水 公子 宇山 昌子

発行

日本レディースバドミントン連盟  
大阪府八尾市福万寺町南 二一四二一八

TEL 072-919-3700-5  
FAX 072-919-3100-2  
Member: nichijia@kawachiqaq.jp  
URL: http://www.jibad.gr.jp

責任者 村井 広美  
編集者 広報部